

第5回新産業廃棄物最終処分場整備のあり方検討委員会議事要旨

<結果>

○事務局説明

(1) 2次整備可能地の選定について

1次整備可能地(46箇所)から候補地を絞り込むため、自然条件、生活環境条件、社会条件や建設条件等の選定項目について検討・評価を行い、2次整備可能地13箇所を選定した。

(2) 3次整備可能地の総合評価について

2次整備可能地で選定した候補地について、現地調査を実施したうえで、総合評価を行い、3次整備可能地を選定する。

(3) 委員会の開催結果に関する情報の公表内容について

県HPにおいて、整備可能地の特定につながるおそれのある2次整備可能地選定のための資料を除き、委員会資料及び議事要旨を公表する(2次整備可能地は箇所数のみ公表)。

(4) その他

第4回検討委員会における意見を踏まえ、廃止されたゴルフ場について確認した結果、太陽光発電など全て跡地利用が決まっており、有効活用されていたため、今回、整備可能地に追加はしていない。

○主な発言(要旨)

(1) 2次整備可能地の選定について

(委員)

地盤のところはいいが、配置可能性で除外されている箇所が多い。
整備可能地内に、埋蔵文化財包蔵地が入っているとすると根拠は何か。

(事務局)

茨城デジタルマップに文化財マップが掲載されている。

今回、配置可能性で除外されているのは20箇所あるが、うち埋蔵文化財包蔵地に該当しているのは9箇所である。

(委員)

遺跡であれば、ポイントのはずだが、エリアとして分布しているのは、どういう意味なのか。

(事務局)

城跡などはポイントであるが、昔の人が住んでいた場所などでは、エリアになる。

(委員)

主要道路が5.5m未満の箇所について、拡幅すれば可能では。

(事務局)

前回の1次整備可能地の選定の段階で、主要道路が5.5mに満たない箇所は除外している。今回、改めて精査したところ、一部5.5mに満たない箇所があったので、除

外した。

(委員)

敷地内に送電線がある箇所については、工事の際に煩雑になるためか。

(事務局)

送電線があると、地上権などの権利が関係することもある。送電線の鉄塔そのものを移設しなければならないこともある。

(委員)

航空写真を見ると、50mの範囲内に池があるように見える箇所がある。

(事務局)

これは採石場のたまり水である。

(委員)

一部、水路がかかっている箇所がある。

(事務局)

これはため池で、地区にかかっている。

(委員)

採掘されたような跡のある箇所があるが、岩盤で、地盤はいい。

(事務局)

ここは採石場である。

(委員)

山を削ったりしてコストをかけるより、地形を生かした方がコスト的に安くなるのであれば、という選択もある。

(事務局)

3次選定の際、経済性で評価できれば。

(委員)

地区内に池があるように見える箇所がある。

(事務局)

ここは、窪んでおり、水が溜まっているような所であり、ため池ではない。

(委員)

山の尾根と谷が交互に並んでいる箇所があるが、標高は高くないのか。入り組んでいるが、これを全部削るのか。

(事務局)

ここは、かなり小さく急な沢が入り組んでおり、できないことはないが、あまりよくない。

(委員)

コストもかかるし、ということ。

(委員)

傾斜が急な箇所があるが、ここは掘り込んでいるから、急な谷地形になっているのか。

(事務局)

傾斜が急となっている法面が多いが、整備可能地の全てが急ということではない。平たい所だけを使って、急な箇所にかからないような配置の検討はできる。

(委員)

住居は500m以内ということでよいか。

(事務局)

今回は住居ではなく、建物の件数なので、500m以内としている。

(委員)

居住地についてだが、3次選定の際、住宅地図等で人が実際に住んでいるのかなども勘案してほしい。

(事務局)

改めて3次選定の際に精査したい。

(委員)

今後、河川の近くの整備可能地の周辺が遊水地になる可能性があるかどうかの考え方についても、情報を集めて欲しい。

(委員)

水源との関係で、どういう水の利活用をされているか考えていかななくてはならない。

(委員)

2次選定に関しては、いろいろな判断基準の中で整理しており、ここまでの結果は妥当と思われるので、13箇所を2次整備可能地として進めてよいか。

(了 承)

(2) 3次整備可能地の総合評価について

(委員)

処理水は下水道に接続することを前提にしているとは思いますが、近隣住民で、井戸水を使っている方は不安があると思う。

上水道をつないでいる地域や、井戸水を使っている地域の情報は得られるか。得られれば、3次選定の際の参考情報でよいので、勘案してほしい。

(事務局)

上水道が整備されていない所もあると思われるので、調べて3次選定の際の参考情報としたい。

(委員)

経済性の観点で、最寄りの高速道路のインターチェンジから候補地までの距離も重要になるので、参考で出していただければと思う。

(委員)

基本方針を整理した中で、中間処理施設をどうするか、地域の産業と連携する話などもあった。中々難しいと思うが、地域に対し、色々な価値を新たに生み出すようなことも考えてよいのではないか。

拡張可能性なども考えてよいのではないか。

(委員)

事務局は、今いただいた意見も踏まえながら、3次整備可能地の総合評価に向けて、進めるように。

その前に、現地調査ということで、委員の方々には、大変忙しいとは思いますが、協力よろしくお願ひしたい。

(3) 委員会の開催結果に関する情報の公表内容について

(委員)

事務局案のとおり、資料1については、評価基準ごとに、除外された箇所数を記載し、作業の工程が分かるようにしたい。

また、本日、3次評価に向けていただいた意見については、資料2に明示するというより、その他の事項として、個別に配慮いただくこととし、公表は資料2ということとしたい。

(委員)

市町村数は公表するのか。

(事務局)

箇所数のみとする。

(委員)

それでは、そのような形としたい。